

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	共立女子短期大学
設置者名	学校法人共立女子学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
生活科学科	—	夜・通信	8	—	—	8	7	
文科	—	夜・通信		—	—	8	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/kyomu/2024nendo/jitsumuka_kyoin.pdf">https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/kyomu/2024nendo/jitsumuka_kyoin.pdf</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	共立女子短期大学
設置者名	学校法人共立女子学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<a href="https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/univ/greetings/history.html">https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/univ/greetings/history.html</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	江戸川大学名誉教授	2022.4.1 ~ 2025.3.31	法人全般にわたる 業務の管理・運営
非常勤	共立女子大学名誉教授	2024.4.1 ~ 2027.3.31	法人全般にわたる 業務の管理・運営
非常勤	共立女子大学名誉教授	2024.5.28 ~ 2027.3.31	法人全般にわたる 業務の管理・運営
非常勤	ロジスティード(株)社 外取締役 (公財)産業教育振興 中央会会長 有限責任あずさ監査法 人公益監査委員会委員	2022.4.1 ~ 2025.3.31	法人全般にわたる 業務の管理・運営
非常勤	(社福)三井記念病院長・ 常務理事 順天堂大学名誉教授	2023.4.1 ~ 2026.3.31	法人全般にわたる 業務の管理・運営
非常勤	社会福祉法人向日葵会 理事	2023.4.1 ~ 2026.3.31	法人全般にわたる 業務の管理・運営
(備考) 桂（結城）由美理事の逝去により5月28日開催の理事会において、大学・短期大学 前学長の川久保清氏を選任した。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	共立女子短期大学
設置者名	学校法人共立女子学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)                  全授業科目について、シラバスを作成し、公表している。シラバスには、「科目概要」「到達目標」「単位修得目標」「授業形態」「授業方法」「授業の進め方の概要」「各回の授業内容」「事前・事後学修」「成績評価の基準」「評価の方法と配分」「テキスト」「参考文献・参考Webサイト等」「課題図書」「履修者へのメッセージ」を記載している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p><a href="https://kyonet.kyoritsu-wu.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml?guestlogin=Kmh006">https://kyonet.kyoritsu-wu.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml?guestlogin=Kmh006</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

授業計画(シラバス)策定時、①試験、②レポート、③(授業内)小テスト、レポート、④平常点(学習意欲、履修態度等)、⑤その他の評価方法を適切に用いて成績評価を行うよう計画をしている。また、成績評価実施時は、当該授業科目の到達目標に照らし、評価基準を以下のように定め、厳正な成績評価を実施している。

(成績評価)	(素点)	(内容)
S	90～100点	到達目標を超えたレベルを達成している
A	80～89点	到達目標を達成している
B	70～79点	到達目標と単位修得目標の間にあるレベルを達成している
C	60～69点	単位修得目標を達成している
D	59点以下	単位修得目標を達成できていない

※グレード・ポイント

S:4.0、A:3.0、B:2.0、C:1.0 D・X:0.

※到達目標:当該授業科目が目指す学修成果のレベル

単位修得目標:当該授業科目で最低限修得すべき学修成果のレベル

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPA を導入しており、GPA 値については学生に公表している。また、GPA の考え方や活用等基本方針についても履修ガイド、ホームページで公表している。成績の分布状況については、GPA の分布状況について、前期・後期各 1 回把握し、各学部の結果を公表している。把握した GPA に基づき、以下のような対応を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 学期 GPA が 1.4 以下となった学生に対しては、本人を呼び出し、アカデミック・アドバイザーによる注意と指導を行う。</li> <li>② 学期 GPA が 2 学期連続 1.4 以下を、または在学期間のうち 3 学期分がそれ以下となった学生に対しては、本人および保証人を呼び出し、アカデミック・アドバイザーによる注意と指導を行う。</li> <li>③ 学期 GPA が 3 学期連続 1.4 以下を、または在学期間のうち 4 学期分がそれ以下となった学生に対しては、学生の状況に応じ、成業の見込みを教授会で審議の上、退学を勧告することがある。</li> <li>④ GPA が高く、学業が特に優秀と認められる学生に対しては、教授会で審議のうえ、表彰を行うことがある。</li> </ol> <p>GPA 算出</p> <p>(科目の成績評点(GP)×単位数)+...+(科目の成績評点(GP)×単位数)÷登録科目の総単位数(評価 D・X の単位数も含む)</p> <p>【履修ガイド 2024 : 掲載 P113・P114】</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	kyoritsu-wu_guide_j_2024.pdf
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)を定め、公表している。各学部において、ディプロマ・ポリシーに基づいたカリキュラムチェックを実施し、各授業科目の到達目標を定めている。各授業科目においては、到達目標の達成水準を基準に成績評価を行っている。したがって、各授業科目における成績評価を適切に行うことで、適正な単位の認定が行われ、卒業要件単位を満たすことにより、ディプロマ・ポリシーの要件を満たすことを保証している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<a href="http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/academics/undergraduate/purpose/">http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/academics/undergraduate/purpose/</a>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	共立女子短期大学
設置者名	学校法人共立女子学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ掲載 <a href="https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/univ/financial/kessan/">https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/univ/financial/kessan/</a>
収支計算書又は損益計算書	ホームページ掲載 <a href="https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/univ/financial/kessan/">https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/univ/financial/kessan/</a>
財産目録	ホームページ掲載 <a href="https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/univ/financial/kessan/">https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/univ/financial/kessan/</a>
事業報告書	ホームページ掲載 <a href="http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/univ/release/plan/">http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/univ/release/plan/</a>
監事による監査報告(書)	ホームページ掲載 <a href="http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/univ/release/kanji/">http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/univ/release/kanji/</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:2024年度 事業計画 対象年度:2024年度)
公表方法:ホームページにて公表( <a href="https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/univ/release/plan/">https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/univ/release/plan/</a> )
中長期計画(名称:第三期中期計画 対象年度:2023年度~2027年度)
公表方法:ホームページにて公表 ( <a href="https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/univ/release/termplan/">https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/univ/release/termplan/</a> )

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:ホームページ掲載 <a href="https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/about/outline/hyouka.html">https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/about/outline/hyouka.html</a>
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:ホームページ掲載 <a href="https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/about/outline/hyouka.html">https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/about/outline/hyouka.html</a>
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 生活科学科
教育研究上の目的（公表方法： <a href="https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/about/purpose/human_resources.html">https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/about/purpose/human_resources.html</a> ）
（概要）生活科学科の人材養成目的は、本学の建学の精神および共立女子短期大学の人材養成目的に基づき、「学生自身の積極的な学習意欲を引き出し、社会において自立した人間として活躍するために、生活に関する実践的な知識・技能を身につけ、家庭および社会において、生活者としてそれらを活用する能力を養い、豊かな教養に基づき、思いやりのある誠実で協調性に富んだ女性を育成する」ことである。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法： <a href="https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/about/purpose/human_resources.htm">https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/about/purpose/human_resources.htm</a> ）
（概要）生活科学科は、建学の精神「女性の自立と自活」を踏まえて展開される所定の課程を修め、62 単位以上の単位修得と必修等の卒業要件を充たし、幅広い教養と生活科学に関する専門分野の学修を通して、以下に示すグローバル化する社会で求められる多様な知識と実践的な技能を修得し、客観的・自律性、課題発見・解決力、リーダーシップを資質・能力として備えた人物に学位を授与する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科学科に関する専門分野の学修を多角的にとらえるための幅広い教養を身につけている。</li> <li>・グローバル化する実社会で求められる多様な知識や技能の活用に必要な、生活科学に関するメディア、デザイン、食、健康、情報、環境、コミュニケーション等の専門知識・実践的技能を体系的に理解・修得し、活用することができる。</li> <li>・実社会における諸課題について、問題の本質を見抜く洞察力と判断力を身につけ、自ら問題を発見して解決する能力を身につけることができる。</li> <li>・多角的な視点から実社会における諸課題を客観的にとらえ、問題を解決するために自ら探求し、生涯にわたって学ぶ姿勢を身につけることができる。</li> <li>・課題を発展させる発想力・表現力を培い、他者に的確に伝え、他者の提案を柔軟に理解し、高め合い、解決策を見出すことのできる能力を身につける。</li> <li>・思いやりのある誠実で協調性に富んだ人間性を身につけ、他者を尊重しながら自らの考えを冷静に主張し、他者を支援することでリーダーシップを発揮することができる。</li> </ul>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： <a href="https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/about/purpose/human_resources.html">https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/about/purpose/human_resources.html</a> ）
（概要）・生活科学の専門教育科目を学修するにあたって、IT メディアコース、生活デザインコースの 2 つのコースに沿って、体系的、順次性を踏まえて、2 年次に主としてコースの学びを深めていく科目を配置する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2 年間の集大成として、課題に基づいて学生が主体的に研究・制作に取り組む「卒業研究」をコース共通の専門教育科目として配置する。</li> <li>・2 つのコースの専門教育科目を一定の範囲内で横断的に履修し、幅広い知識と教養を育成する。</li> </ul>
入学者の受入れに関する方針（公表方法：）

(概要) 生活科学科は、ディプロマ・ポリシーに定める知識、技能を修得し、資質・能力を育成するために必要・適切な授業科目を可能にするために、カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリー、ナンバリング、履修系統図を用いる。その上で、教育課程編成及び授業実施にあたっての教育内容、学修成果の評価の在り方についての方針を定める。

学部等名 文科

教育研究上の目的 (公表方法 : [http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/academics/junior\\_college/bunka/purpose/](http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/academics/junior_college/bunka/purpose/))

(概要) 文科の人材養成目的は、本学の建学の精神および共立女子短期大学の人材養成目的に基づき、「学生自身が自らの将来を切り開いていくために自ら積極的に学ぼうとする意欲を引き出し、ひとりの自立した人間として成長していくための、表現する能力、コミュニケーションの能力、理解する力、豊かな文化的教養、社会に出て役立つ実践的な知識等を涵養し、そして、他者を思いやり人のために尽くす生き方ができるような誠実で友愛に溢れた人間性を持つ女性を育成する」ことである。

卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法 : [http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/academics/junior\\_college/bunka/purpose/](http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/academics/junior_college/bunka/purpose/))

(概要) 文科は、建学の精神「女性の自立と自活」を基本理念として展開される本科の所定の課程を修め、62 単位以上の単位修得と必修等の卒業要件を充たし、幅広い教養と専門分野における知識・技能の学修を通して、以下に示す資質・能力を備えた人物に学位を授与する。

- ・言語・文学・人間心理・文化を多角的にとらえるための幅広い教養を身につけている。
- ・広く社会に貢献するための知識と理解力をもち、ことばを通して主体的に世界と関わることができる。
- ・自分らしく社会を生き抜くためのコミュニケーション・スキルを身につけている。
- ・自らテーマを見つけ出し追及する問題意識をもち、それを表現することができる。
- ・想像力をもち、周りの人々を思いやり、細やかに配慮することができる。
- ・他者との相互関係や協同関係を作り上げ、集団のなかの自分の役割を見出し、率先して行動することができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : [http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/academics/junior\\_college/bunka/purpose/](http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/academics/junior_college/bunka/purpose/))

(概要) 文科の専門教育科目を学修するにあたって、日本文学・表現コース、英語コース、心理学 コースの3つのコースに沿って、体系的、順次性を踏まえて科目を配置する。

・各コース共通の「文章表現法」「コミュニケーション論」及びプレゼンテーションの力を伸ばす「伝える技術」の科目を設け、一人の自立した人間として成長していくための、文章表現力やコミュニケーション能力の養成を目指している。

・豊かな文化的教養、社会に出て役立つ実践的な知識等を涵養するための共通科目として、「カルチャー科目」「区アリアサポート科目」を設けている。

・各コースの専門科目と共通科目、さらには、全額共通の教育科目を通して、一人の自立した人間として未来を切り開く積極性や、豊かな表現能力、コミュニケーションの能力、他者を思いやる豊かな人間性を持った女性を育成することを目指している。

入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : [http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/academics/junior\\_college/bunka/purpose/](http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/academics/junior_college/bunka/purpose/))

)

(概要) 文科は、ディプロマ・ポリシーに定める資質・能力を育成するために必要・適切な授業科目を精選し、順次性ある体系的な教育課程を編成する。その際、科目履修の順次性に基づくカリキュラムの体系的学修を可能にするために、カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリー、ナンバリング、履修系統図を用いる。その上で、教育課程編成及び授業実施にあたっての教育内容、教育方法、学修成果の評価の在り方についての方針を定める。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：[http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/academics/junior\\_college/bunka/purpose/](http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/academics/junior_college/bunka/purpose/))

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	4人	—					4人
文科	—	6人	1人	人	人	4人	12人
生活		4人	3人	人	人	4人	11人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
0人				65人			65人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： <a href="https://kyonet.kyoritsu-wu.ac.jp/KgResult/japanese/index.html">https://kyonet.kyoritsu-wu.ac.jp/KgResult/japanese/index.html</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
生活科学科	100人	87人	87%	200人	176人	88%	0人	0人
文科	100人	67人	67%	200人	127人	64%	0人	0人
合計	200人	154人	77%	400人	303人	76%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
生活科学科	83人 (100%)	25人 (30.1%)	51人 (61.4%)	7人 (8.4%)
文科	42人 (100%)	12人 (28.6%)	23人 (54.8%)	7人 (16.7%)
合計	125人 (100%)	37人 (29.6%)	74人 (59.2%)	14人 (11.2%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 富士通 IS サービス株式会社、東洋紡株式会社、東レフィルム加工株式会社 他				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)【様式第2号の3より再掲】 全授業科目について、シラバスを作成し、公表している。シラバスには、「科目概要」「到達目標」「単位修得目標」「授業形態」「授業方法」「授業の進め方の概要」「各回の授業内容」「事前・事後学修」「成績評価の基準」「評価の方法と配分」「テキスト」「参考文献・参考 Web サイト等」「課題図書」「履修者へのメッセージ」を記載している。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)【様式第2号の3より再掲】</p> <p>授業計画(シラバス)策定時、①試験、②レポート、③(授業内)小テスト、レポート、④平常点(学習意欲、履修態度等)、⑤その他の評価方法を適切に用いて成績評価を行うよう計画をしている。また、成績評価実施時は、当該授業科目の到達目標に照らし、評価基準を以下のように定め、厳正な成績評価を実施している。</p> <p>(成績評価) (素点) (内容)</p> <p>S 90～100点 到達目標を超えたレベルを達成している</p> <p>A 80～89点 到達目標を達成している</p> <p>B 70～79点 到達目標と単位修得目標の間にあるレベルを達成している</p> <p>C 60～69点 単位修得目標を達成している</p> <p>D 59点以下 単位修得目標を達成できていない</p> <p>(科目の成績評点(GP)×単位数)+...+(科目の成績評点(GP)×単位数)÷登録科目の総単位数 (評価D・Xの単位数も含む)</p> <p>※グレード・ポイント</p>
---

S:4.0、A:3.0、B:2.0、C:1.0 D・X:0.

※到達目標:当該授業科目が目指す学修成果のレベル

単位修得目標:当該授業科目で最低限修得すべき学修成果のレベル

卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)を定め、公表している。各学部において、ディプロマ・ポリシーに基づいたカリキュラムチェックを実施し、各授業科目の到達目標を定めている。各授業科目においては、到達目標の達成水準を基準に成績評価を行っている。したがって、各授業科目における成績評価を適切に行うことで、適正な単位の認定が行われ、卒業要件単位を満たすことにより、ディプロマ・ポリシーの要件を満たすことを保証している。

【履修ガイド2024:掲載P113・P114】

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
生活科学科	-	62単位	有・無	単位
文科	-	62単位	有・無	単位
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法: <https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/about/disclosure/campus-info/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	生活科学科	750,000 円	150,000 円	440,000 円	施設設備維持費 390,000 円 実験実習料 50,000 円
	文科	750,000 円	150,000 円	360,000 円	施設設備維持費 360,000 円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 担任制度により年度始めに全員面談を実施している。 教務課で年 4 回出席状況を集計し、欠席率が低い(67%未満)学生の情報を学部へ連絡、担任が面談した記録をシステムに記録、記録内容は教職員で共有している。 GPA の低い学生について、年度末に保証人に通知し、学科では履修指導を行う。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 個別相談やキャリアガイダンス/プログラムの実施、インターンシップ支援、各種資料の公開等を行い、学生個々の進路選択を支援している。また、転学部・転学科・転専攻の制度も設け進路変更への支援も行う。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生相談室では、学生生活に関する相談に応じ、必要に応じて関係部署と連携を図っている。「学生相談室だより」などで心の成長や健康に関する情報を発信している。教職員対象の研修会を開催し、学生への支援方法を習得する機会としている。 保健室では、毎年健康診断時に全学生との問診を実施し、健康状態と修学支援の確認をしている。また結果を元に学校医との面談を実施している。年に 3~4 回「保健室だより」を発信し、健康や感染症の予防と対応について情報提供している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : : <a href="https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/about/">https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/about/</a>
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F213310104222
学校名 (〇〇大学 等)	共立女子短期大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人共立女子学園

### 1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		41人	36人	43人
内 訳	第Ⅰ区分	21人	19人	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	-	-	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者 (年間)				0人
合計 (年間)				43人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

### 2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	-
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)		-	-
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	-
「警告」の区分に連続して該当		-	-
計		-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	前半期	0人	後半期	-

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	-	-	-
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	-	-	-
計	-	-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。